

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 邑南町教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : 「知りたい やってみたい 伝えたい」を育てる学校づくり
4. 研究課題 : ①様々なことに興味を示し、「なぜ？」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。
②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。
③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

子ども達たちが本来持っている「知りたい欲求、学びたい欲求、誰かに伝えたい欲求」を満たし育てる。そのために、小規模校のメリットを最大限に生かし、小規模校だからこそできる多様な体験や徹底した個別指導を通して基礎学力の保障を図る。また、小規模校のデメリットを最小限に抑えるために、近隣の保・小・中学校の子ども達や地域の多様な人たちとの意見交流の積極的な場作りを行う。こうして、教育活動を一層充実させ、魅力あふれるものとし、学校を継続させる方策について研究することを目的として調査研究を行う。

(2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

研究課題

- ①様々なことに興味を示し、「なぜ？」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。
②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。
③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。

研究課題に沿った実施状況

7月	①辞書引き学習会（放課後児童クラブにて 全児童）	深谷圭助氏 来校	1
	②辞書引き合同学習会（矢上公民館にて石見地域3校1・2年）		1
	①理科学習会（めだかの観察、顕微鏡の使い方）	内藤富夫氏 来校	20
	②合同学習会（5・6年）	石見東小学校児童	8
	③通学合宿（日貫公民館：宿泊・炊飯体験、星の学習会）	市木小 板倉宏校長	7
	③神楽笛（地域の方のお話、年間計画作成）	服部忠司さん	7
8月	①家庭学習の手引き作成、配布		
	推進事業推進会議打ち合わせ（山下政俊氏来町）		1
	①アサーティブな表現で気持ちのよい自己表現研修	出前講座	5
	①地域学習（紙芝居）	山田明子さん（日貫）	19
9月	第1回少子化・人口現象の対応し活力ある学校教育推進事業推進会議		12
	①学び合い授業（6年 社会）	山下政俊氏 来校	6
	②保小合同運動会	中学生ボランティア参加	17
	②おおなん子どもの集い（元気館：5・6年）	邑南町全小5・6年、中2年との交流	27
	③通学合宿：（日和公民館：6年）	石見地域3校6年合同合宿	11～13
	③公民館との合同学習：食育講座（醤油）	原和恵氏（原醤油店） 来校	28
	③森林学習（地域の方のお話）	瀧田均さん	26

10月	①学び合い研究授業（2年：国語）	山下政俊氏 来校	3
	①ロボット学習（公民館）	てごねっと	3
	①ロボット学習（公民館）	てごねっと	17
	①理科学習	内藤富夫氏・石田秀樹氏（島根大学） 来校	6
	②郡音楽祭（悠邑ふるさと会館）	邑智郡内小・中学生他、一般	20
	②3校ミニバス交流会（4～6年）	邑南町立市木小、高原小	21
	②3校合同学習（6年）	石見東小、矢上小児童	14
	③親子食育講座	公民館参加	17
	③神楽笛（クラブ：4～6年）	瀧田均さん、徳田秀嗣さん	27
	③隅屋（芋掘り）	荒木春雄さん	31
11月	先進地視察（大阪市立南光港小学校）		11～12
	②郡ミニバス大会（改善センター：4～6年）		2
	①ロボット学習（公民館）	てごねっと	7
	①学び合い授業（4年：国語）	山下政俊氏 来校	7
	②合同学習会（4年）	石見東小児童	
	②スサノオマジック夢授業（元気館：5・6年）	邑南町立小学校合同	8
	③神楽笛（学習発表会で発表）	瀧田均さん、徳田秀嗣さん	19
	①「えっさほいさひぬきっさ」の取組み	食の学校（邑南町）、地域の方	19
	②合同学習会（1・2年）	市木小児童	
	③セルロースナノファイバー講義（4～6年）	岡久陽子氏（京都工芸繊維大学）来校	28
①特別支援教育に係る校内研修	小寺正登氏（浜田教育事務所）来校	28	
①図書委員会取組み（ビブリオバトル）			
12月	先進地視察（沼津市立静浦小中一貫学校）		15～16
	①総合的な学習の時間研究授業	地域の方へのプレゼン（県教委視察）	5
	②3校合同学習会（6年）	石見中学校にて外国語（英語）学習石見東小・矢上小6年参加	9
	①ロボット学習	てごねっと	9
	③隅屋体験学習	公民館長	10
	①県学力テスト		13・14
①調べ学習研修（5・6年）	大隈石見中学校司書	19	
1月	③枝打ち体験（5・6年）	邑智郡森林組合、公民館合同	11～
	③おおなんドリームプレ発表（5・6年）	地域の方、保護者	26
	③おおなんドリーム発表（5・6年）	町内小・中・高校生、町民	29
	③紙すき材料採取（5・6年）	山崎勉さん他地域の方、公民館合同	11～
2月	先進地視察（江戸川区立清新ふたば小学校）		10～11
	③紙すき（5・6年）	地域の方、公民館合同	1
	②合同学習会（1・2年）	矢上小児童	
	①語彙力検定2回目		
	①語彙力検定他校比較	協力校：美郷町立大和小学校	
	①理科学習会（4～6年）	松本一郎氏 来校	15
	第2回少子化・人口現象の対応し活力ある学校教育推進事業推進会議		15
	①辞書引き学習授業研究会	深谷圭助氏、神永暁氏 来校	23
	①QUテスト分析		
②グローバル化に対応した外国語活動授業研究及び研修	山岡修子氏（浜田教育事務所） 来校	22	
②③矢上高校生とのセルロースナノファイバーワークショップ（矢上高校：5・6年）	矢上高校生	27	
①図書委員会取組み（おすすめの本紹介（英語でプレゼン）			
3月	③セルロースナノファイバー ワークショップ（5・6年）	邑南町、企業	1
	①理科学習会（4～6年）	松本一郎氏 来校	9
	③公民館との年間計画作成		

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

①様々なことに興味を示し、「なぜ？」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。

1、主体的な学びを身につけさせる。

→本校独自の「学び合いガイド」を活用した複式学級におけるガイド学習の充実

4～6年生の国語、算数の授業においては児童が児童による「ガイド学習」を取り入れた。

→「辞書引き」学習の時間を教育課程に位置づける。

毎週水曜日朝活動の時間20分間と給食前の約10分間を「辞書引き」学習の時間にあてた。

→地域をフィールドにした体験活動など5回以上

5/2	ふるさとひぬいウォーキング
9/13～	日貫伝統の「へか」を広めよう（給食のメニュー）
10/25	キッチンカーを体験しよう
11/19	えっさほいさひぬきっさ
12/9	収穫祭（隅屋体験）
1/29	おおなんドリーム
2/1	紙すき体験
7/20、10/6	理科学習
6/30、10/3、10/17、11/7、12/8	ロボット学習

→児童の意識調査にて家庭学習時間がのびた児童の割合：80%以上

家庭学習の時間が伸びた児童の割合は、57%と80%には達しなかった。ただ、親子読書を楽しんでいる児童が78%、読書が好き、まあまあ好きと答えた児童を合わせると100%に達した。さらに、保護者は児童が読書を楽しんでいるように感じるかを尋ねたところ、感じていると答えた保護者が85%に達した。自主学習を進める児童も増えた。

2、表現力を育てる。

→「辞書引き学習」の時間において、おもしろい言葉発見など発表の場の設定：80%以上

毎週木曜日朝活動の時間20分間実施。

「今日のお気に入りの言葉」を発表する時間を設けた。選んだ語句を使って例文を作ったり、知らない言葉は自分の辞書で調べたりしながら言葉を通して交流を重ねた。また、日常的に辞書を引くと答えた児童が85%、さらに辞書を引くことで語彙数が増えたと感じている児童は92%であった。

→発信の時間と場を設定した授業の割合：80%以上

〈抜粋〉

1・2年 図工：作成したものを身に付けてファッションショー。

1・2・4年 国語、学活、道徳を横断的に結び付けて 募金活動。

4年 国語、社会、総合的な学習の時間を横断的に結び付けて、新聞、ポスターにして発信。

5・6年 国語、社会、総合的な学習の時間を横断的に結び付けて、おおなんドリーム学びの集いで発表。

高校生、地域の方、行政、一般企業とのワークショップ

図書委員会 2学期：ビブリオバトル 3学期：英語のスピーチを取り入れた本の紹介 など

割合としてはじき出すことは難しかったが、校内研究としても学習のまとめとして発信することを掲げて取り組み、回を重ねるたびに児童の工夫が見られ、発表のレベルを上げていった。

自校独自の語彙検定の実施。深谷圭介氏に語彙検定作成を依頼し、作成していただいた。本校で2回検定し比較、2回目は協力校（美郷町立大和小学校）との比較を行った。

→言語活動の工夫・改善に努めた研究授業：1人1回以上

本校の授業研究のテーマに掲げ取り入れた。

1・2年担任：「劇化」を取り入れ読みを深めた。

4年 担任：国語科で作成したBOOKをALTに紹介。（書画カメラ使用）

物語文単元での音読劇発表。

理科で栽培したへちまを活用して国語科「広告」と「説明書」の作成し、地域の方へ向けての募金活動にて利用、配布。

総合的な学習で取り組んだ「伝統のへかを広めよう」の活動にて、国語科の「アンケート」をとってポスターで発表する単元と合わせて取り組み他校へ配布。

5・6年担任：社会科「町人の文化と新しい学問」：うんちく調べ

グローバル化に対応した外国語活動

◎全学年で書画カメラや電子黒板を積極的に活用。

3、人間関係力を向上させる。

→ロボット学習を通して他校児童や保護者等と交流した回数:2回以上

公民館で行ったロボット学習 4回(10/3、10/17、11/7、12/8)

→異学年集団活動:10回以上

4/14	地域クリーン活動	9/17	保小合同運動会(中学生ボランティア)
5/2	ふるさとひぬいウォーキング	9/28	しょう油出前講座
6/6	川の学校	10/17	親子食育講座
6/16	宿泊研修(江津自然の家)	11/19他	えっさほいさひぬきっさ
7/7	通学合宿	12/9他	収穫祭(芋苗植え、芋ほり、隅屋体験)
	ロボット学習	神楽笛	理科観察学習

→QUテスト満足群に属する児童の割合:80%

4~6年生について年2回のQUテストを実施した。いずれも満足群に属する児童の割合80%を越え、2回目は90%を超えた。

②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。

1、自己肯定感を高め、自信を持たせる。

→合同学習や交流活動の実施回数:7回以上

7/1	辞書引き学習会(1・2年:矢上公民館)	10/21	ミニバス練習会(4~6年:高原小、市木小)
7/1	辞書引き学習会(全校:放課後児童クラブ)	11/8	合同学習会(4年:石見東小)
7/8	合同学習会(5・6年:石見東小学校)	11/11	夢授業:島根スサノオマジック(近隣小学校5・6年)
9/27	おおなん子どもの集い(5・6年:元気館)	11/28	合同学習会(1・2年:市木小)
10/14	3校合同学習会(6年:三瓶自然館)	2/3	合同学習会(1・2年:矢上小)
10/20	郡音楽祭(全校)		

※この他、各学年で様々な合同学習や交流活動を行った。

→児童の意識調査(生活アンケート、交流活動後の感想等)

他校交流で進んで発表したり、行動したりすることができた児童 85%以上

他校交流の感想

- ・他の子が分かりやすく説明してくれた。友だちをつくりたいと思った。(2年)
- ・交流の前、早くみんなと遊びたいと思った。(2年)
- ・交流ではすぐに友達になれた。(2年)
- ・他の学校で発表することができた。(4年)
- ・他の学校との交流で殻を破ることができた。(4年)
- ・他の学校の友だちがやっているのを見て楽しそうだから進んで交流できた。(5年)
- ・普段学校で進んで発表しているから力が発揮できた(6年)
- ・恥ずかしかった。(2年)
- ・人見知りだから進んで行動することができなかった。(5年)

→研修の実施3回以上

先進地視察に教員が分担して出かけた。研修後、報告会の場を設け教職員研修を行った。さらに、特別支援教育に関する研修、人間関係づくりに関する研修を実施した。

- ・大阪市立南港光小学校
- ・沼津市立静浦小中一貫学校
- ・江戸川区立清新ふたば小学校

→年間活動計画の作成

年間活動計画を作成し、項目ごとに教職員で仕事を分担し取り組んだ。

③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。

1、探求型授業を充実させる。

→地域の教育力を活用した授業実施:10回以上

5/2	ふるさとウォーキング	9/26	瀧田さんの話(森林学習)
6/6	消防団長さんの話(社会科)	10/31	隅屋(芋ほり)
6/10	公民館長さんの話(社会科)	12/9	鹿野さんの話(生活科)
6/29	町の駐在さんの話(社会科)	1/11	森林組合(総合的な学習の時間:枝打ち体験)
9/13	松浦さんのお話(総合的な学習の時間:地域の伝統料理)	1/11	公民館、地域の方(総合的な学習の時間:紙すき材料採取)
9/21	栄養教諭さんのお話(総合的な学習の時間(総合的な学習の時間:地域の伝統料理を給食に))	2/1	公民館、地域の方(総合的な学習の時間:紙すき)

→公民館との年間活動計画作成

学校での活動は公民館と協力しながら計画を立てた。

2、地域の課題解決に参画

→地域の活動に参加：7回以上

蕎麦に関する活動：8/1 種まき 11/6 収穫 12/23 そば打ち

米に関する活動：9/24 稲刈り・はで干し体験 10/16 脱穀・もみすり体験 12/23 収穫祭(もちつき)

神楽に関する活動：11/20 日貫大元神楽フェスティバル 10/ ～ 各神楽団にて夜神楽に参加

→考えをまとめ、新聞等で発信：10回以上

くらしを守る(新聞)

「山と生きる」(プレゼンテーション)

見つけよう日貫の名所(新聞)

ふるさとひぬいウォーキング(新聞)

「日本の和と洋」について調べよう(BOOK)

自動車をつくる工業(ポスター)

「日貫伝統の「へか」を広めよう(アンケート、ポスター)

水産業の盛んな地域(ポスター)

広告と説明書を読みくらべよう(広告、説明書)

依頼文(京都大学矢野先生、矢上高校校長先生)

(2) 成果物等

- ・ H28年度「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育の推進事業」年間活動計画
- ・ ブログ まめわざ HiNui 内 日貫小学校ブログ

(3) 今後の取組予定

- ・ 1年目の取り組みを継続し、学びをより深めていく。
- ・ 保小、小小、小中のみならず、町内にある養護学校、高等学校ともネットワークを構築し、より幅広い仲間とのコミュニケーション能力を身につけていく。
- ・ 公民館と年間計画を作成し、[ふるさと]との連携をより深め、探求型授業を充実させ、地域の課題解決に参画しようとする力を育てるとともに、日々進みゆく科学文化との共生を目指すべく取り組みを重ねる。